

第8章

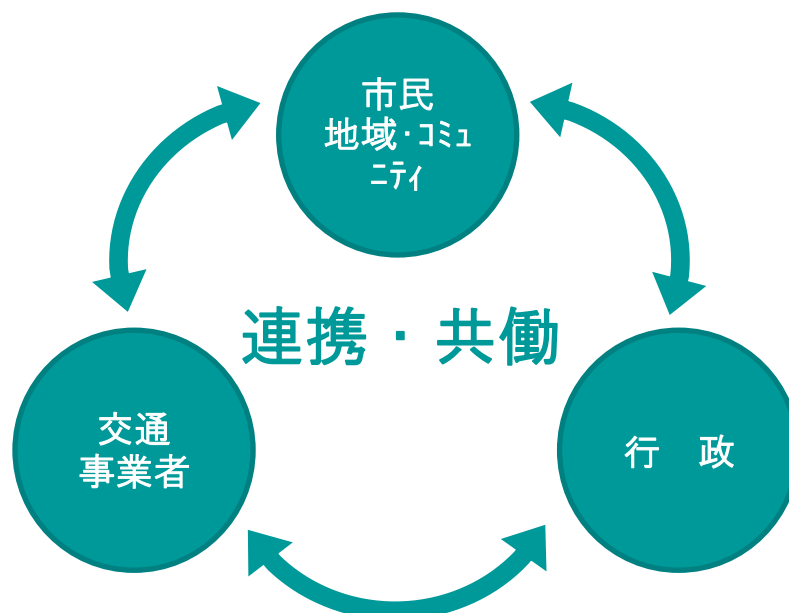
計画達成状況の評価

8. 計画達成状況の評価

8-1. 施策のマネジメント体制

福津市における地域公共交通をマネジメント（管理）する主体は、「福津市地域交通体系協議会」です。マネジメントにおいては、行政と市民、地域コミュニティがともに公共交通に対する意識を共有化し、単に評価するにとどまらず、持続可能な地域公共交通網の構築に向け官民共働のもと取り組むことを目的とします。

- 公共交通のあり方を自ら主体的に検討・実践
- 地域公共交通を支える持続的な取り組み
- 地域公共交通の担い手として積極的に公共交通を利用
- 地域が主体となった公共交通サービスの提供



- 利用者ニーズを踏まえた交通サービス・情報の提供
- 地域公共交通のあり方の検討への積極的な参加や連携・協力

- 協力体制づくり
- 市民等に対する積極的な働きかけ
- 公共交通施策の実施
- 公共交通サービス提供の支援 等

▲福津市における地域公共交通推進体制

8-2. 計画達成状況の評価の基本的考え方

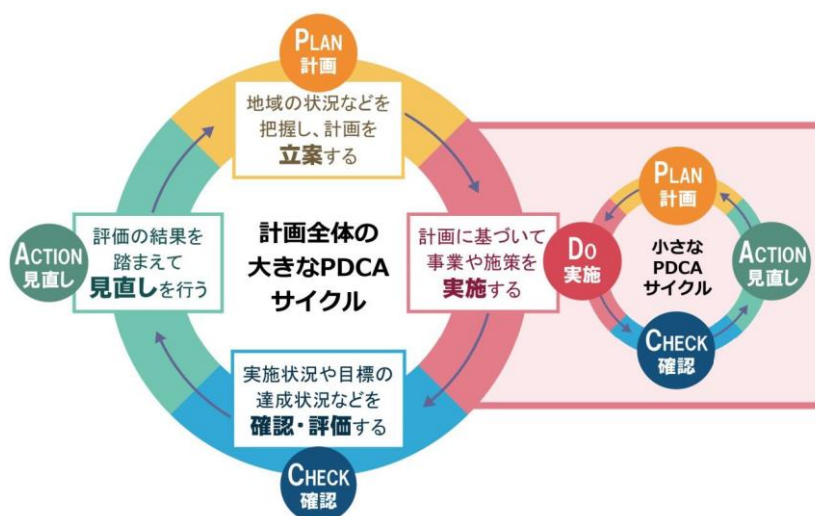
福津市における公共交通ネットワークの評価は、以下の手順で実施します。

- 公共交通ネットワークの評価及び検証、改善策の検討は、福津市地域交通体系協議会における協議によって行います。
- 公共交通ネットワークの評価は、「路線単位での評価」を基本として目標の達成状況の評価・検証します。
- 目標を達成できていない場合は、その原因を調査・分析し、改善策を検討するPDCAサイクル(計画⇒実行⇒評価⇒改善)により実施します。(下図に示す“小さなPDCAサイクル”を実践)
 - ⇒ 路線単位の評価は、原則1年間の運行を経て評価基準に基づいて、毎年実施します。
 - ⇒ ネットワーク全体での評価は、計画の目標年度において個別のバス路線がネットワークとして機能しているか総合的に評価・検証し、次期計画に見直しを反映させます。

▼PDCAサイクルによる継続的な改善

	対象期間	概要
大きなPDCAサイクル	計画期間	対象期間全体を通じた事業の実施状況や数値目標の達成状況、事業実施による効果、残された課題などを整理・分析し、次期計画に反映させます。
小さなPDCAサイクル	毎年	事業の実施状況などを整理するとともに、利用状況などを継続的にモニタリングし、事業内容の修正やスケジュールの見直しを実施します。

▼PDCAサイクルの構築イメージ



8-3. 評価・検証のスケジュール

各指標の評価・検証は、以下のスケジュールと取得方法で実施します。

▼各指標の評価・検証の実施時期とデータ取得方法

数値指標	実施時期	データ取得方法
鉄道駅別年間乗客数	年1回	交通事業者より データ提供
路線バスの年間利用者数	年1回	交通事業者より データ提供
コミュニティバスの年間利用者数	年1回	交通事業者より データ提供
幹線補助路線の収支	年1回	交通事業者より データ提供
コミュニティバスの路線別収支	年1回	行政からの報告
主要な停留所でのバス待ち改善箇所数	施策の実施状況に 応じて、適宜実施	事業主体への ヒアリングにて把握
公共交通の利便性に関する満足度評価割合	令和7年度	行政によるアンケート 調査による把握
地域コミュニティとの共働を取り組む地域（団体）数	施策の実施状況に 応じて、適宜実施	行政からの報告